



議会だより



丹南地区市町議会議長会総会(5月24日 越前市で開催)

6月定例会の概要

平成19年第2回越前市議会定例会は、6月15日から29日までの15日間にわたって開かれました。

この定例会では、市長提出の補正予算案1件、条例案1件、一般議案1件、人事案1件、専決承認案6件が提案されました。また、議員から委員会条例案1件、意見書案1件が提出されました。本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・承認しました。

また、一般質問には14人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

主な内容

予算・条例審査 2~3頁

一般質問 3~6頁

審議議案一覧など 7頁

委員会審査など 8頁

**平成19年
6月定例会**

一般会計予算7,900万円を補正

(千円)

	平成19年6月	平成18年同期	前年比
一般会計(補正後)	27,259,000	27,412,100	99.4



▲PRセンターが開設されるセンチュリープラザ1階

予算審議

※（）内は質疑をした議員名

■伝統工芸品・観光PRセンター設置事業

運営事業 1342万円
(玉村・前田修・関議員)

■伝統工芸品・観光PRセンター設置事業

運営事業 170万円
(玉村・前田修・関議員)

■小学校施設耐震補強・大規模改修事業 2337万円
(玉村議員)

■小学校施設耐震補強・大規模改修事業 2337万円
(玉村議員)

■児童センター管理運営事業 209万円
(中西議員)

■児童センター管理運営事業 209万円
(中西議員)

■土地・建物借上維持管理事業 504万円
(中西議員)

■土地・建物借上維持管理事業 504万円
(中西議員)

問 センチュリープラザにPRセンターが出来ても場所が分かりにくい。どのように目立たせ誘導するつもりなのか。

答 JR武生駅からの誘導サインや施設案内看板についても、プロポーザルをかけながら提案を受けていく。

問 内容は。まちづくりセンターには中心市街地活性化に関する業務、市民事業のサポートネットワーク情報発信業務やまちなか観光の企画運営業務を委託する。運営は、タウンマネージャーと市職員1名、商工会議所職員1名の3名体制を考えている。

答 まちづくりセンターはこれまで40人程の学童保育をしていたが、今年から63名の登録があつたため、急遽プレハブのリース方式で増築対応するものである。

問 王子保児童センターがこれまで40人程の学童保育をしていたが、今年から63名の登録があつたため、急遽プレハブのリース方式で増築対応するものである。

答 越前市として「観光の振興」の現状と課題をどう捉らえ、どのように具体化を図っていくのか。

答 3月に策定した観光振興プランの中で、魅力的な情報の発信、観光資源の開発、受け入れ態勢の整備、観光イベントの充実を4つの柱として観光振興を進めている。

問 学校の耐震診断の結果、Eランクが13棟、Dランクが9棟と診断された。中には市の防災計画で広域避難場所に指定されている体育館も4棟あつた。E・Dランクに該当した学校の耐震補強前の防災対策はどうするのか。

答 耐震化整備が終わるまでの間、その地区の代替施設を使つていきたいということを、当該地区的地域ミィーティングで説明している。

問 学童保育の利用者増による予算と聞くが、その内容は。

答 センチュリープラザ内の施設借上料で、まちづくりセンターと消費者センターの敷地、伝統工芸品観光PRセンターの看板分である。

問 南中山公民館南側の田、3770m²を屋内ゲートボール場用地として借り上げているが、8年経つ現在でも建設予定はなく無駄な契約ではないか。

答 監査委員からの指摘もあり、契約の見直しに向けた協議を進めている。

■中心市街地活性化事業 400万円
(中西・関議員)



▲王子保児童センター

増税の影響と市の対応

Q 定率減税の廃止で住民税が増税されたことにより、介護保険料に影響が出ると思うが、市としての軽減策への取り組みは。

A 介護保険料は、市民税の課税・非課税や所得により決定され、定率減税の影響はない。昨年の改正で影響の出た老年者等の方には激変緩和措置を実施しており、市としての軽減策は考えていない。

Q 舗装後間もない道路をすぐにやり直すのはなぜか。

A 再度路面を掘り起こすことのないよう努めているが、道路利用者の安全性を確保するため、緊急性のあるものについては、例外的に工事を行う場合がある。



◀市直営での道路舗装改修作業



たけふ福祉工場（白崎町）▶

障害者の自立支援について

Q 授産施設や福祉工場の運営が経済的に苦しい状況にあるが、市としての支援策は。

A 3月に策定した市障害者福祉計画の中で、市からの優先的な発注や製品購入等をうたっている。受注促進や販路拡大への支援、一般企業からの受託業務の開拓への協力に努めていきたい。

Q サンドーム周辺に大規模商業施設が開発許可を受け出店計画をしているが、大規模施設の規制を進めている市として矛盾する点があるのであるのでは。

A 開発行為等について市は市の要綱に基づき事前協議を受けるとともに、都計画法や県の開発許可申請の手引きに沿って適切に対応している。

政策評価の実施について

Q 政策評価の実施時期及びその方法は。

A 本年秋には、総合計画の主要事業について

第三者による評価委員会を設置する予定である。委員会の中で評価をいただき、その結果については来年度当初に市民に公表していきたい。

繰上償還について

Q 川用水負担金について、繰上償還をすべきという政策評価がされた場合はどうするのか。

A 現時点では、小学校の耐震化にかかる費用の額が把握できない。耐震化推進計画を作り終えた段階で、実践プログラム・財政計画の見直しを行い、償還が可能かどうか判断する。

総合評価型入札について

Q 案件によっては、価格だけではなく、技術力や社会的な価値を総合的に評価できる総合評価型入札制度を導入してはどうか。

A 庁内の公正入札調査委員会で協議を行い、価格に技術力を加味する超簡易型と呼ばれる制度を、この下半期に試行的に実施したい。

一般競争入札について

Q 越前市の入札において透明性、公平性のより高い一般競争入札を積極的に導入すべきではないか。

A 一層の透明性、競争性を図る観点から、これまで設計価格1億円以上だった制限付き一般競争入札の対象を、本年9月からは原則3千万円以上としていきたいたい。

政新会 北野 光夫

公明党議員団 吉田 慶一

大志 題佛 臣一

政新会 川崎 悟司

小学校の統廃合について

Q 合併前に南中山小と服間小の統合が取りやめになつたと聞くが、その経緯は。

A 児童数の減少と南中で話が持ち上がった。保育所と小学校の全保護者を対象としたアンケートでは反対の意見が多く存続を決めた。

校区外入学について

Q アンケートでは、低学年になるほど統合に賛成の保護者が多かつた。そ

の方々の為にも、選択性による校区外入学制度を導入できないか。

A いじめ等の特別な場合には認めているが、

校区における地域とのつながりや連携を考えていこうえで、今のところ選択制は適当でないと考えている。

無料バス券の配付について

Q 高齢者の交通事故撲滅とバスの利用促進から、高齢者の運転免許証返納者に対する無料バス券の配付制度を検討できなか。

A 高齢者社会を迎えるに機関の利用へシフトしており、効果的な仕組みや導入時期などを前向きに検討していきたい。

入所型介護施設について

Q 老人福祉施設の、今

事業や介護サービスの計画内容は。

A 地域密着型介護施設

整備事業として、昨年より4カ所の整備助成を進め今年8月にすべてオープンする。19年度には認知症対応の通所型介護事業所数箇所に対し、整備助成を行っていく。

丹南地域総合公園について

Q 丹南地域総合公園の進捗状況と今後の予定は。

A 平成18年2月に都市計画事業認可を受け事業着手し、地形測量、用地測量は終えた。今年度より用地買収のため県・市が密接に連携し地元協議を進めている。

Q 会の計画策定を待たずして、坂口小学校の実施設計、基本設計が6月補正予算に計上されているのはなぜか。

A 坂口地区には、小学校の代わりとなる地域防災上の拠点避難施設がなく、耐震の診断結果がEランクであるため、耐力度調査を行なわずに補強することとした。

新幹線南越駅へのアクセス

Q 北陸新幹線南越駅から中心市街地への交通アクセスである村国山トンネルを、県への要望事項に盛り込むべきではないか。

A この事業は、大きな事業費を要するため市の財政も見据える必要がある。新幹線建設の動きや、道路整備プログラムでの位置づけ等を考慮しながら検討していく。

広域での地域活性化について

Q 車社会における流通・商業の産業振興には、

自治体が競い合うのではなく、広域的な取り組みが必要では。

A 県が設立予定の、行政・商工団体・大学等で構成される地域産業活性化協議会に参加し、広域連携を図りながら取り組みを進めていく。



◀小規模多機能型居宅介護事業所
あいで家（栗田部町）



坂口小学校▶

花筐公園の活用について

Q 花筐公園において、花筐薪能、もみじ祭りが開催され、県外からの観光客も増えている。官民一体となつた市の一大事業にならなかつたか。

A 花筐公園が国の登録記念物として登録が答申され、全国に名が知れ渡るようになつた。更に地域と連携し、商工会や観光協会と協力体制の強化を進めながら、事業の推進を図つていく。



花筐公園 ▶



◀ AED (自動体外式除細動器)

乳がん対策について

Q 乳がんの早期発見にはマンモグラフィーによる検診が有効だが、市での受診状況は。

A 平成17、18年度の受診者は2,213人で21・9%の受診率であり、受診者はすべて視診・触診とマンモグラフィー検診を受けている。

AEDの周知について

Q AEDの設置場所の周知や操作の方法を知つてもらうための講習会の開催計画はどうなつているのか。

A 設置場所については、ポスターを掲示し、広報・ホームページ等で周知を行っていく。講習会についても、設置施設に勤務する職員を中心講習会を開催しながら、多くの市民が操作できるよう周知・啓蒙していく。

共同調理の問題について

Q 服間小学校の現場記録を見ると、国の基準より温度が低いなどの問題点がある。

A 同じ共同調理の南中山小学校の記録にはその事が書かれていらない。同じ調理工程ならば、同じ問題が書かれているはずである。温度については、教育委員会で再度調査をさせていただく。

請願書について

Q 方式給食を求める請願書採択を、教育委員会としてどのように受け止めているのか。

A 重く受け止めている。学校給食のあり方検討委員会の報告内容、採択された請願書の内容を尊重しながら、教育委員会としての今後の方向性を示したい。

資格証明書の発行について

Q 住民の命を守る立場から、国保税の滞納者から保険証の取り上げは行うべきではない。市として資格証明書の発行に対しては、どう対処していくのか。

A 資格証明書は、国保税を滞納し、納税相談にも応じず、連絡もない被保険者に対して発行しているが、内情が異なるためケースバイケースの対応が必要で、8月に実態調査を実施する予定である。

勤務評定制度について

Q 勤務評定制度の成果主義が公務職場になじむのか。

A 今回の勤務評定については、あくまでも人材育成を基本としており、職員が能力を発揮し組織力を高めることを目標にしている。

意見書

可決された意見書は、国会及び関係行政庁へ提出しました。

・森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書

人 事

人権擁護委員候補者の推薦に同意
林とも子（栗田部町）

議員の派遣について

派遣議員 中西 真三
上山 直行
目的 議会制度、少子化対策、地域活性化対策、自治体の再編・統合、高齢者福祉の調査
場所 フランス、デンマーク、オランダ
期間 9月26日～10月5日

派遣議員 片粕 正二郎
目的 議会制度、中心市街地活性化対策、高齢者福祉対策、地域活性化、広域行政府に

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

表彰

おける住民参加による地域づくりの調査
アメリカ、カナダ
北信越市議会議長会関係
・議員在職20年以上

派遣議員 題佛 臣一
議員 玉川 喜一郎
議員 片粕 正二郎
前議員 伊藤 藤夫
前議員 山本 清内

予算

◎平成19年度越前市一般会計補正予算（第1号）

条例

◎越前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定について

工事の委託協定について

【一般議案】

◎専決処分の承認を求めるについて

（平成18年度越前市一般会計補正予算（第5号））

◎専決処分の承認を求めるについて

（越前市市税賦課徴収条例の一部改正について）

◎専決処分の承認を求めるについて

（越前市都市計画税条例の一部改正について）

◎専決処分の承認を求めるについて

（原子力発電施設等立地地域指定による固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について）

◎専決処分の承認を求めるについて

（越前市国民健康保険税条例の一部改正について）

◎専決処分の承認を求めるについて

（控訴の提起について）

【人事案】

- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めるについて
- 【意見書】
- ◎森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書

平成19年度6月定例会の審議議案

◎満場一致 ○賛成多数

議会史(旧武生町)を販売しています



▲議会史（全4巻）

9月定例会日程

期 間	場 所
10月24日～11月2日	オーストラリア、二ユージーランド
▼9月4日(火)	本会議（提案理由説明）
▼9月7日(金)～12日(水)	本会議（質疑、委員会付託、一般質問）
▼第二卷：昭和31年～49年	昭和30年 70000円
▼第三卷：昭和50年～	90000円 平成8年 100000円
▼9月13日(木)～18日(火)	資料編・議会だより縮刷版 6500円
各常任委員会、特別委員会	※全巻購入の場合は3万円で25000円お得です。

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

産業経済委員会

■伝統工芸品・観光PRセンターについて

委員から、新たに設置される伝統工芸品・観光PRセンターの整備について、打刃物、和紙等の各産地の意見を、どた、既存の伝統工芸品の展示施設を活用した連携方策についてただされました。

理事者からは、委託業者に任せることになるが、展示品については、各組合と相談をすることになるが、展示品伝統工芸品も展示する予定である。まずは、PRセンターから情報を発信し、体験施設ながら、それぞれの役割を分

建設委員会

■中心市街地活性化について

委員からは、商店街などに残る昔の看板や美術品等の古



▲蔵の辻

問合先 市議会事務局
☎(22) 3426

R100

市議会だよりは、資源保護のために再生紙を使用しています。
資源として活用できますのでリサイクルにご協力ください。

担当しながら進めていきたい。
との説明がなされました。重

い宝の提供を受け、蔵の辻や
町中に展示するなど、商工会
ねて委員からは、PRセンター
の名称については、施設に
ふさわしい名称となるよう、
十分配慮し、この設置に係る
事業発注に際しては、可能な
限り地元業者を優先するよう
に努力されたい。との要願意
見も示されました。さらに、
同センターの運営について、
委員から、観光PRセンター
が、一目でわかるような的確
な誘導サイン及びPR方法に
ついてただされました。理事
者からは、駅からの誘導サイ
ンについては、プロポーザル
の中で効果的なものを考慮し
ていく。センターのPR方法
については、広報紙や市のホ
ームページ等で、周知を図つ
ていただきたい。との説明がなさ
れました。

和紙等の各産地の意見を、ど
た、既存の伝統工芸品の展示
施設を活用した連携方策につ
いてただされました。

理事者からは、委託業者に
任せることになるが、展示品

については、各組合と相談を
することになるが、展示品

伝統工芸品も展示する予定で
ある。まずは、PRセンター

から情報を発信し、体験施設

ながら、それぞれの役割を分

い宝の提供を受け、蔵の辻や
町中に展示するなど、商工会
ねて委員からは、まちづ
きと連携した事業の推進が提
起されたほか、中心市街地へ
人を呼び戻し、まちなか居住
を促進するための施策等につ
いてただされました。

理事者からは、今まで行
われたまちづくりでは、行
区域には古い歴史的資源な
どが数多く残っており、それ
らを活用していくためにも、
タウンマネージャー等をまち
づくりセンターに配置し、今
後設置される中心市街地活性
化協議会での検討を踏まえ、
各種団体との連携を深め事業
が推進できる体制整備を図り
たい。また、まちなか居住に
ついては、中心市街地に空き
家・空き店舗・未利用地が数
多く点在しており、その地主・
家主の方々と相談しながら有
効活用を図りたい。市の施策
としては、既に住宅政策に関
する助成制度の創設や、土地
開発公社の保有地を活用した
住宅政策も行っており、これ
らの制度を活用しながら居住

促進を進めていきたい。との
説明がなされました。
さらに委員からは、まちづ
きに対する市の基本姿勢が
ただされました。

理事者からは、今まで行
われたまちづくりでは、行
くくりに対する市の基本姿勢が
ただされました。

理事者からは、今まで行
われたまちづくりでは、行
くくりに対する市の基本姿勢が
ただされました。

(表紙の説明)

丹南地区市町議会議長

会は、丹南地域（越前市、
鯖江市、池田町、南越前町、
越前町）の課題を協議す
るため各市町議会の議長
で組織されています。

本会議の様子を 丹南CATVで放映

本会議の様子は、丹南CATV
でご覧になります。一般質問
時には、質問項目一覧を放映
するなど、分かりやすい放送
に努めています。

TVコミュニケーションネット
でご覧になります。一般質問
時には、質問項目一覧を放映
するなど、分かりやすい放送
に努めています。

市議会を傍聴しましよう

本会議は、住所、氏名などを
記入するだけで、どなたでも
傍聴できます。場所は本庁
舎別館6階です。来庁は、な
るべく公共交通機関を利用す
るか乗り合わせでお越しくだ
さい。